

アスト売却後はどうなるのか

答 健康づくり教室は継続する



鈴木 勉議員

町長 購入希望者は、情報（ＩＴ）専門学校等の設立を計画している。町の活性化を推進するためにも、売却を前提に交渉を進めたい。

▽アスト会館

問 アスト会館は健康づくりの拠点として年間延べ3300人の方が利用している。売却後はどうなるのか。

町長 アスト会館の健康づくり教室は継続する。また多くの町民が利用している町内各施設に機具等の充実を図りたい。

問 多くの町民が町の発展を期待しているが、その経済効果は。
町長 町内業者施工の改装工事や400人からの学生が入学してくる。地元からの食料品、物品の購入、町内での飲食や買い物、アパート住まい等計り知れない。また、若い人達の出会いなど経済効果が期待できる。
問 事業計画、資金計画はどうか。
町長 民間人による検討委員を立ちあげ、売却価格も含め調査検討してもらい、その結果を元に交渉する。
問 町民や議会への報告は。
町長 交渉が進み売却価格が設定されたら、広く皆様に意見を求める。

▽高齢者福祉

問 一人暮らしや老々世帯の安否確認や見守り対策は。
町長 配食サービス事業、通報システムの設置、見守りネットワーク等、地域全体で支え合いの体制を構築している。

問 自治会未加入者への刊行物の配布は。
町長 役場、駅、銀行、郵便局に備えてある。またハイキャットやケーブルテレビで情報を発信している。

問 青森県のある市で

は、協力事業者と連携し、毎日のように無料で刊行物を手渡し、安否確認を行っているようだが。
町長 町も高齢化が進んでいる。高齢者には今までにない見守り事業で、早急に調査検討し対応したい。

▽通学路の交通安全対策

問 稲取小学校横の急坂に、歩道が必要ではないか。
町長 危険箇所として認識している。歩行者への安全対策として、カラー舗装やスクールゾーン表示をしている。

問 車の通行量が多い箇所である。児童等の歩行者の安全対策は今のままで充分か検討してもらいたい。
町長 国道との立体交差による制約があり、改良は難しいが、PTAや地元からの要望があれば検討していく。



入谷から下る稲取小学校横の道路
路側帯とカラー舗装で歩行者の安全を確保

海浜プール閉鎖に伴う代替案は

答 アスト会館のプールを開放する



笠井政明議員

▽夏季アスト会館 プール使用

問 大川と白田のプール休止に伴う代替案としてアスト会館のプールを利用させるとのことだが、今年度の予定は。
町長 アスト会館のプールを夏休み期間中、週一回水曜日の午後に開放する。料金は無料。大川小学校の水泳授業については、マイクrobasで熱川小プールまで送迎し利用

してもらう。6月と7月の毎週火曜日、計6回行う。
問 城東地区の子供たちの送迎対応はどのようになっているか。
町長 週一回、白田の保健福祉センター前からの発着で運行を予定している。
問 大川、北川、奈良本地区からの運行は。
町長 地区から要望があれば検討する。
問 本年度から初めて取り組むことなので、ぜひ行っていただきたい。
町長 海岸プールを休止した大川と白田を重点的に置いて前向きに検討する。

▽東伊豆町内学校統合

問 大川小学校の統合について、進捗状況と今後の予定は。
教育長 保護者説明会を3回と地区説明会を2回行い、アンケートや意見などを加味し、学校環境整備委員会で協議・検討を進めている。
問 東伊豆町の子供達への教育における中長期ビジョンは。
教育長 熱川の小中学校は平成31年、稲取の小中学校でも平成38年に全学年一クラスになる見込み。学校教育環境整備委員会でも検討・答申をいただき、教育委員会で具体的に進めるため中長期ビジョンを決定する。

問 十年後を見据えて東伊豆町内の学校の存続、統合等のスケジュールを

立てて、何パターンか作り進めてはどうか。
教育長 委員会での検討、答申をもとに進めていく。時間の問題もあるので、早めに取り組みたい。

▽データの利活用

問 ふるさと納税における寄付者のデータ活用は、どのように考えているか。
町長 寄付者に対する新たな記念品のパンフレット送付、年賀状の発送等を考えているが、現在寄付者からデータ活用の同意を受けていないので、本年度はデータ活用の同意を受ける方向で検討。

問 観光協会等で発行している情報紙も送付してはどうか。
町長 データ活用の同意を得た方に対して、定期的に発送できるよう検討していく。

問 ICT地域マネージャー派遣事業の検討はどうか。
町長 ICT地域マネージャーは、システム活用として効率的・効果的な事業を運営する地域に對して、一定期間にわたって派遣する事業である。当町が導入できるか本年度検討を重ねていく。
問 電子化等になっていく流れの中で、専門的な人材を導入することにより、より良いアドバイスを町がもらえると考えるか。
町長 導入しても良いと考えているので、本年度検討を重ね導入に向け前向きに検討していく。